

# 東日本ユニオン よこはま

JR 東日本労働組合  
横浜地方本部  
発行者/小清水和彦  
編集者/ 業務部

2021春闘アンケートから組合員の声を基に要求実現に向けた  
申第13号「コロナ禍における職場環境改善に関する申し入れ」の  
交渉を行いました。

1. 勤務で不織布マスクを希望する社員には、配布すること。

回答：現時点において、一律にマスクを配布する考えはない。

- ・当時マスクが高価だったため、緊急避難的に会社が配布した。今は、低価格になっているので、個人でとお願いしている。職場で用意している物の予算については、支社のもの、現場のものと同様である。
- ・マスクについては、必要数確保し、備蓄している。汚れ等あった場合、配布するマスクは用意している。
- ・業務上、必要であれば希望する社員に配布する。グループ会社については、把握はしていないが同じレベルでとお願いしている。

2. 職場内における感染予防や消毒対策は、社員が使用する全ての箇所に講じること。

回答：新型コロナウイルス感染症の対策については、公共交通機関として国や関係行政機関と連携し必要な対策を実施してきており、今後も感染防止に向け取り組んでいく。

- ・支社管内の職場は、支社危機管理指示において、全て感染対策を行っている。
- ・消毒液等足りないというのであれば、現場で話していきたい。現場で予算が無いというのであれば、購入や予算支援を行っていく。ペーパータオルの設置については、必要であれば設置していく。
- ・乗務員室や客室及び駅の施設等の消毒については、社員がいるなかで行っていたが、緊急事態宣言が出され、現在は社員の出勤数を下げているため、定期的には行っていない。

3. マイクやコート等共有品で使用しているものは、感染予防のため消毒対策を講じること。また個人貸与とすること。

回答：支社危機管理本部指示に則り取り扱うこととなる。なお、被服類の貸与については被服類取り扱い規程に則り取り扱うこととなる。

- ・コート等は、共用使用が基本となる。乗務員等は出先地等あるので「個人貸与が適当」と判断している。
- ・コート等の貸与については、現場ごとに違う。作業状況に応じて、判断している。

4. 寝具類（シーツ）をスリーピングシーツに統一すること。

回答：現時点において、リネンの使用を変更する計画はない。

- ・スリーピングシーツについては、要望もあり検討しているが、グループ会社の体力もあるので現時点では、現行のままとなってしまふ。

**声を出さなければ変わらない！  
働く側も納得のいく会社施策と**

**安心して働ける職場環境を実現させるために  
声を出して行こう！！**